

多摩区の自転車対策

第4期区民会議では、第3期区民会議の報告を受けて、区役所で行っている自転車対策の取組について把握・確認していきます。現在、区役所で行っている取組は、以下の通りです。

報告1

既存のちらしの効果的な配布方法の検証、実践について

報告2

より効果的なちらしの必要性について

報告3

その他の方法での啓発について

■イベント実施時に、ちらしやパンフレットでの啓発活動を行っています。

■駐輪場利用者を対象に、通勤時間帯にあわせた啓発活動を実施しています。

■駐輪場定期利用者へ、契約更新時にちらしを配布しています。

■多摩区の事故特性を調査し、ちらしの内容へ反映させています。

■平成25年度から、小学生を対象に交通ルール遵守の標語を募集し、優秀作品の看板を作成、設置することを検討しています。



■スケアード・ストリート方式交通安全教室の実施を、中学校・高校へ働きかけています。



■市政だより平成24年12月1日号に自転車マナーアップの特集記事を掲載しました。平成25年度以降も掲載する予定です。

区民会議の認知度アップをテーマに、7区の区民会議委員が意見交換。



7区の区民会議委員が一堂に会する「区民会議交流会」が、平成25年2月14日(木)に中原区役所で開催されました。この交流会は、区民会議委員が交流を通じて、各区の取組等の情報交換を行い、連携を深めることにより、区民会議の発展につなげることを目的としています。

今回の出席者は、区民会議委員70名。阿部市長や各区長も参加し、多摩区からは9名の委員が参加しました。交流会では初めての取組として、市長からの「区民会議について」の講話に続き、委員がグループに分かれて「区民会議の認知度向上」をテーマに意見交換を行いました。

第4回区民会議は、
2013年5月28日(火)

[時間] 18:00~

[会場] 多摩区役所(11階会議室)

どなたでも傍聴できます。
ぜひ傍聴にお越しください。

区民会議の詳細、開催日程等の情報は、
区役所ホームページ内の「多摩区区民会議」
のページでもご覧になれます。

ホームページはこちら・・・

多摩区区民会議

検索



第4期

多摩区
区民会議
ニュース

発行：第4期多摩区区民会議 事務局：川崎市多摩区役所企画課
TEL 044-935-3147 Fax 044-935-3391

Vol.02

2013.3

第3回区民会議が開催されました。

平成25年2月12日(火)に、第3回区民会議が開催されました。コミュニティ部会、自然災害部会の調査審議内容について各部会長から報告し、全体で意見交換をしました。(各部会の調査審議経過については、2、3頁に掲載。)



区民会議(全体会)では、委員全員で審議します。



コミュニティ部会 辻野部会長



自然災害部会 荒井部会長

全体での意見交換では、以下の意見が出ました。

必要な情報が行き渡ると安全安心が高まる

自然災害部会で出されている課題の内容は、いずれも簡単なようで、掘り下げると深く、解決が難しい。

大地震などが起こったとき、人の心は恐怖で一瞬マヒ状態になる。こうした中でも不思議と頭は回転していることが多い。災害が起きたときの最初の避難場所をしっかりと周知していくことが重要だ。

個人情報保護法との関係から、町会では5年以上も名簿を作っていない。どこに誰が住んでいるかわかれば災害時にも役立つ。

商店を経営しているが、40~50年前は買物時のやり取りで来客の家族構成までわかった。最近は、個人のことを知られるのが嫌でスーパーやコンビニで、一言もしゃべらずに買い物をする人が多くなっているように感じる。

つながりのある社会が安全安心を育む

自然災害部会の自助・共助と、コミュニティ部会の顔の見える人間関係の両方で、地域の絆やネットワークを再構築できれば安全安心のまちづくりが進められる。

阪神淡路大震災では、多くの人が隣近所に助けられたという。隣近所でしっかり話し合いができると良いが、難しい問題があると感じる。いざという時に助け合える体制作りを進めたい。

人と人のつながりをどうするか。地域の中でお互いに声を掛け合う社会をどう築き上げるか、区民会議で検討できると良い。

多くの人がコミュニケーションの能力を身につけ、コミュニティに自ら進んで出てくると良い。それぞれにつながることによって災害時に助け合い、協力し合うことができ、それによって共助も進むのではないかな。

調査審議経過①

コミュニティ部会

●3回の部会と4か所のこども文化センター現況調査を実施し、コミュニティを巡る現状と課題の整理及び、課題解決策を検討しました。

○第1回区民会議（8月30日（木）） 取組テーマのアイデア出し
○第2回区民会議（11月6日（火）） 部会及び部会員の決定

第1回部会 12月5日（水） 18：00～19：50

- コミュニティを巡る具体的な取組内容、取組方法について意見交換を行った。
- 地域コミュニティの再生・復活
 - ・地域の中での絆、人々の関わり合い、助け合いの関係が薄れてきている。
 - ・地域との関係が薄い人たちが気軽に立ち寄り、出会う場・機会をつくることが求められている。
 - イベント情報の集約・広報
 - ・町内会自治会のイベント、地域祭事、健康体操など人が出会える催しの情報が周知しきれていない。
 - ・区内のイベント一覧ポスターや冊子があると交流が進む。

区内施設のうち、こども文化センターの現況を調べる。

こども文化センター現況調査

- 1月16日（火）午後 中野島こども文化センター、菅こども文化センター
- 1月17日（水）午後 三田こども文化センター、錦ヶ丘こども文化センター
- 調査事項：利用できる時間帯、利用のための手続き、利用できる部屋・道具、利用にあたっての注意事項など



第2回部会 1月28日（月） 18：00～19：40

- コミュニティを巡る現状と課題について意見交換を行った。
- 部会のテーマ **顔の見える地域に根ざした「絆」を構築する** ＊議論の結果、テーマを改定しました。
 - 定年退職者に地域に参加してもらう工夫
 - ・定年退職者の能力を地域で活かして欲しいが、地域に参加するチャンスがない人が多い。
 - ・地域に出てきてもらえるような工夫が必要だ。
 - 子どもたちは自由に使える時間が少ない
 - ・塾や習い事で忙しく、子どもたちが自由に使える時間が少なくなっている。イベントや地域の行事へ参加する子どもが年々減少している。
 - 出会いのチャンスから地域活動が広がる
 - ・地域の環境活動を偶然目にしたことから、NPO活動に参加することになった人々もいる。
 - ・活動に触れる機会があれば、参加する人がでてくる可能性も増える。
 - ・あまり外出しない高齢者も、出会いから地域活動につながるチャンスが生まれる。
 - ・時間がある定年退職者をターゲットに、地域参加のチャンスづくりに取り組むことが必要。

○第3回区民会議（2月12日（火）） 各部会の検討経過報告と全体での意見交換

第3回部会 3月11日（月） 18：00～20：05

- 課題解決に向けた方向性を以下の2つとし、この2つの「課題解決策」について議論した結果、次のような取組を検討していくこととした。
- 1 地域に参加してもらうきっかけづくり
 - (1) イベントカレンダーの作成
 - (2) 多様な趣味にふれあえるしかけ
 - (3) 農業などの切口から地域の絆が生まれるしかけ
 - 2 コミュニケーション能力をはぐくむ
 - (1) みんなで集まって行う体操の普及
 - (2) あいさつ運動の展開

調査審議経過②

自然災害部会

●3回の部会と「自然災害」勉強会を開催し、自然災害を巡る現状と課題の整理及び、課題解決策を検討しました。

○第1回区民会議（8月30日（木）） 取組テーマのアイデア出し
○第2回区民会議（11月6日（火）） 部会及び部会員の決定

第1回部会 12月3日（月） 18：00～19：50

- 自然災害を巡る具体的な取組内容、取組方法について意見交換を行った。
- 大学との連携
 - ・大学を一組織としてではなく、学生を一住民と捉える中で助け合いの仕組みができると良い。
 - ・寮等に住んでいる学生を、避難所単位で担当できると良い。
 - 隣近所での助け合いの体制づくり
 - ・「まずは隣近所で助け合える体制」のイメージを描き、現状と乖離している部分を、どうすれば良いかをまとめられると良い。
 - ・家族防災会議、隣組防災会議などを開催してはどうか。

委員の防災に関する知識を均一化するために「自然災害」勉強会を開催する。

- 「自然災害」勉強会 1月17日（木） 18：00～19：50
多摩区役所危機管理担当から、川崎市及び多摩区の防災に関する取組について話を聞いた。
- 「川崎市の災害対応について～その概要～」
- 1 川崎市の地域防災計画と多摩区地域防災計画について
 - 2 個別の施策について 自助として・共助として・公助として



第2回部会 1月25日（金） 18：00～19：25

- 自然災害を巡る現状と課題について意見交換を行った。
- 部会のテーマ **いざという時に助け合える体制づくり**
 - 情報の周知
 - ・自助の内容・必要性、共助の仕組み等に関する情報が十分に周知されていない。また、情報が伝わっても、具体的に取り組んでいる人は少ないのではないか。
 - 避難所の運営、設置
 - ・避難所運営の担い手の高齢化、避難所運営会議、運営訓練等の活動状況に差がある。
 - ・避難所の立地場所、区割り等に課題があるのではないか。
 - その他
 - ・災害の記憶（過去に起こった災害の被害状況等）を記録し、伝えていくことが重要だ。
 - ・大学、高校、企業、事業所等との連携が必要だ。
 - ・コミュニティ部会との連携の中で解決に向けて検討できる課題もある。

○第3回区民会議（2月12日（火）） 各部会の検討経過報告と全体での意見交換

第3回部会 3月5日（火） 18：00～19：50

- 自然災害を巡る課題の中から、以下の3つについて優先的に検討していくこととした。
- 1 情報の周知
 - いざという時に役立つ具体的な情報を周知、徹底する。
 - 2 避難所の確認
 - 避難所の位置、避難経路、避難所運営等のあり方について確認、整理する。
 - 3 生徒、学生との連携
 - 災害時に高校生や大学生など、若い世代のチカラを活かせる取組を検討、推進する。